

科目区分：人間科学科目

授業科目名	人間と環境(ハンディキャップ)				学期	曜日	校時
英語名	Human and Environment (Handicap)						
担当 教員名	平田 勝政 他 (障害児教育教員担当)	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期 月曜日	3校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法							
<p>本科目は、人間とハンディキャップ(障害)の関係について基礎・基本となる学問的知見をわかりやすく提供することをねらいとしている。授業は、講義形式でビデオ等の視聴覚教材を使用しながら、ハンディキャップ(障害)を有する人々の生活史と人権史、障害概念の科学的認識・障害者の人間的理解・障害者の人間的解放理念の到達点を講義し、さらに「共生」社会の実現めざして医学・医療・看護・教育・福祉の諸力がそれぞれに果たす役割を、長崎という地域に根ざしながら学習していく。</p>							
テ キ ス ト 、 教 材 等							
教科書は使用しない。適宜資料を配布する。							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
全学部	定期試験またはレポートの成績と出席状況を考慮して行なう。						
授 業 計 画							
第1回 オリエンテーション(講義の概要の紹介等)							
第2回 ハンディキャップ(障害)を有する人々の現状はどうなっているか(実態論)							
第3回 ハンディキャップ(障害)を有する人々はどのような歴史を歩んできたか(歴史論)							
第4回 ハンディキャップ(障害)を有する人々の人権思想はどう発展してきたか(人権論)							
第5回 ハンディキャップ(障害)を有する人々の人間的解放の理念はどこまで深められているか(理念論)							
第6回 ハンディキャップ(障害)とは何か(障害概念論)							
第7回 ハンディキャップ(障害)を有する人をどう理解したらよいか(障害者理解論・その1)							
第8回 ハンディキャップ(障害)を有する人をどう理解したらよいか(障害者理解論・その2)							
第9回 ハンディキャップ(障害)と医学・医療の力(障害者医学論)							
第10回 ハンディキャップ(障害)と看護の力(障害者看護論)							
第11回 ハンディキャップ(障害)と教育の力(障害者教育論)							
第12回 ハンディキャップ(障害)と教育の力(福祉教育論)							
第13回 ハンディキャップ(障害)と福祉の力(障害者福祉論)							
第14回 ハンディキャップ(障害)と地域環境(地域計画論) *回数関係で開講しない場合がある。							
第15回 定期試験の場合は試験日となる							
質問受付時間：講義終了後講義室にて							